

## 担体投入型高度処理プロセス 「アクアナイト」

富栄養化防止を目的として採用される生物学的窒素除去法は、反応タンク滞留時間が標準活性汚泥法の約2倍となるため、広大なスペースが必要です。当社の担体投入型高度処理プロセス「アクアナイト」は、硝化に必要な微生物を高濃度に保持することができる担体「アクアゲル」を好気タンクに投入して反応を促進し、標準活性汚泥法と同等の滞留時間で硝化・脱窒をおこなうことができます。

兵庫県明石市の下水処理場向けに高度処理設備を納入し、3年以上の運転実績があります。



アクアゲル

